



しおかぜ



夏季浦戸合宿を開催しました

夏季花山合宿は、1998年頃より国立花山少年自然の家を会場に開催してきましたが、今年の夏季合宿は、8月4日(土)・5日(日)の一泊で塩竈市浦戸野々島のブルーセンターで開催しました。
海を臨む島(野々島)での開催であり、今

2018.08.04 合宿初日の夕食で



までの花山合宿とは勝手も違い準備等が大変でしたが、有志11名での楽しい合宿となりました。

塩竈市の棧橋(マリンゲート)より市営汽船で野々島に向けて出発。当日の汽船は観光客(海水浴)で賑わい座れないほどでした。野々島(ブルーセンター)到着後、昼食(冷やし中華)その後、目の前の棧橋で釣り三昧……。しかし、大きな収穫はありませんでした。しかし、島の方達から頂いた「なまこ」、「カニ」そして前もって準備した「焼きそば」等で皆さん納得の夕食となりました。一般拳士にとつては、美味しいお酒もいただき懇親を深めることが出来ました。

二日目、朝食は「炊き立てのご飯」に「生たまご」そして味噌汁と質素に。その後、野々島の棧橋を離れ、向いの石浜(桂島)に渡し船で移動、大漁を目標にお昼まで頑張りました。皆さん、獲物は大きくはありませんが、かなりの「はぜ」を釣り上げ満足顔でした。お昼ご飯は、日本ソバと釣り上げたハゼの塩焼きで満腹になりました。帰りは、棧橋と乗船中大雨に見舞われましたが、楽しい思い出深い浦戸合宿となりました。

来年は、浦戸もいけどやっぱり花山に行きたいという声も聞かれ、来年はどうしようか……。拳士の皆さんの要望をお聞かせ下さい。参加いただいた拳士の皆さん有り難うございました。

中学生2名が初段に!

小学校を卒業した後も塩竈道院に在籍してくれていた中学生二人、松浦聖十郎拳士と瀬戸琉輝矢拳士が、5月20日(日)、青葉体育館で開催された昇格考試で見事初段に合格しました。

今後は、中学校での勉強と部活動に専念するようです。8年間の少林寺拳法の修練経験を活かし、充実した中学校生活を送って行くことと期待しています。



今後の予定

- ◎8月24日(金) 18:00から 塩竈教区 昇級試験・教区内拳士交流会(塩竈道院専有道場)
- ◎8月26日(日) 09:00から 宮城武専(青葉区体育館)
- ◎9月5日(水) 仙台杜都道院達磨祭・9月6日(木) 塩竈道院達磨祭
- ◎9月28日(金) 塩竈教区昇級試験・僧階取得勉強会(塩竈道院専有道場)

塩竈教区拳士交流会を開催します

8月24日(金)午後6時より塩竈教区内道院の拳士交流会を開催することになりました。

これは、毎月の昇級試験や僧階の勉強会だけの開催ではなく、たまには塩竈教区内拳士の交流会を開催し、一般拳士同士の懇親を深めようというものです。拳士の皆さん是非参加をお願い致します。



2018.08.04 野々島棧橋での釣り

中国古典 紹介

今日は、「その能を誇れば、その功を喪う」を掲載『書経』

「能」は、才能、能力である。これは人生を生きていくうえで有力な武器となる。これに恵まれたものは、成功する可能性が高い。特にリーダーにとっては、必要な条件の一つであつて、能力のないリーダーなどというのは考えられない。

2018.08.04 野々島棧橋での釣り



2018.08.05 桂島石浜での釣り

ただし、その持ち方が問題になる。せつかくの能力も、これ見よがしにひけらかしたりすれば、たちまち周囲の反感を買ってしまふ。反感を買うくらいですめばまだよいが、おもむくところ、功績も地位も失つてしまふケースが少なくない。歴史を調べてみると、そういう例がきわめて多いのである。

さすがにある程度年輪をへた者は、そのへの機微をよく心得ているようで、鼻の先に能力をぶら下げて歩いているような人物は少ない。だが、若い世代には、けっこう、そんな人間が多い。こういうタイプは、よほど自覚して能力を隠すようにしないと、大成はむずかしいように思われる。